

2021年度学校評価【西南学院中学校・高等学校】

建学の精神および学校法人西南学院の使命

学校法人西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探究および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人格を育てることを使命とする。

建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉は、Lで始まる4つの英単語を用いて表され、本校では、チャペル講話をはじめ様々な教育活動においてこの4つのLを取り入れて具体的に実践している。

- ・ L i f e (生命) :すべての人命を積極的に尊重すること
- ・ L o v e (聖愛) :真の神を礼拝し、他者に奉仕すること
- ・ L i g h t (光明) :知なきところに真理の光を掲げること
- ・ L i b e r t y (自由) :責任ある自由をもって行動すること

学校法人西南学院のビジョン

- ①人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ②教育研究：確かな教育力と新たな知と価値の創造
- ③国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④地域貢献：進化する福岡とともに歩む学校としての自覚と協働
- ⑤経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

西南学院中学校・高等学校における教育の目標

- ①かけがえのない“L i f e (いのち)”を大切にする
- ②“L o v e (聖愛)”の実践を通して、隣人に仕える
- ③“L i g h t (世の光)”として、平和構築に貢献する
- ④真理を探究し、真の“L i b e r t y (自由)”を得る

西南学院中学校・高等学校における学校評価の進め方と2021年度の重点目標

I o T、A I、ビッグデータ等の先進技術を活用することで、モノやサービスを提供する新しい時代、“S o c i e t y 5. 0”を迎えようとしている。国際化や多様化が進み、情報の高度化が加速する社会にあつて、教育現場においても、国家、地域、年齢、性別、言語等を越えた、多様で普遍的な価値観に対応できる人材の育成が求められている。建学の精神を堅守しつつ、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、平和を創りだす人材育成を継続するとともに、ポストコロナ時代における学びのニューノーマルを想定し、将来に向けた教育体制の点検と整備を進めることを目指す。

2021年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2021年度事業計画案	担当部署	2021年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2021年度の具体的な計画内容	2021年度の具体的な実施内容	評価	評価の理由
人間育成 ①平和をつくりだす人間教育 ②隣人愛の理解と実践 ③奉仕の精神を持って社会を先導する人間の育成	1	「平和をつくりだす人間教育」「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映と浸透	1	中・高	チャペルやミッション・ウィークを活用した「いのち」を大切にする教育や「人権教育」の充実、また、「いじめ」防止に向けた教育プログラムの充実	人権・「同和」学習の継続的な実施と充実	新型コロナウイルス感染の影響が懸念されるが、オンライン活用などの方法で、聴覚特別支援学校との交流活動、ピース・メイキング・プログラムとインターナショナル・デイ・キャンプなどのプログラムの実施を目指す。人権・「同和」教育特設ホームルームでの講演、視聴覚教材による授業、「いじめ」アンケートの実施と振り返り、月ごとの主題をふまえたチャペル講話に関しては、確実に実施して継続的な啓発に努める。	宗教部			
			2	中・高	中学3年沖縄修学旅行や韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実	平和学習の継続と充実	「韓国への(からの)旅」および沖縄修学旅行実施の可否については、感染状況を見て慎重に判断する。昨年度に続いて韓国での研修が実施できない場合に備え、中村哲先生をテーマとした県内でのミニツアーや、次回「韓国からの旅」受入を視野に入れた長崎平和学習ツアー等の代替プログラムを検討し、状況を見て実施する。	宗教部			
			3	中・高	生徒が主体的に企画・運営するチャペル企画やボランティア活動の充実	生徒が主体的に参加するチャペル活動や奉仕活動の実施と充実	毎週月曜日朝の中高合同での放送礼拝を、中高それぞれの宗教部、合唱部、放送部生徒諸君の協力を得て行い、ミッションウィークやクリスマス特別礼拝でも生徒とプログラムを分担する。感染症の影響で校外でのボランティア実施は難しいと思われるが、物品収集や募金は従来通り実施する。	宗教部			
			4	中・高	地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実	外部組織との連携強化によるチャペル等の充実	地域教会の牧師や他のキリスト教学校の先生方にチャペル講師や教員聖書研究会など協力を依頼する中での関係づくりに引き続き努める。本校のキリスト教教育の促進に資する内容の写真パネル展等の企画についても検討・実施に努める。本校保護者を対象としたバイブルクラス実施の機会確保にも努め、キリスト教活動への理解を求めるとともに連携を広げる機会とする。	宗教部			
	2	社会の担い手となるサーバントリーダー育成プログラムの充実	5	中・高	生徒に対するサーバントリーダー育成のための教育プログラムの充実	サーバントリーダー育成プログラムの創設・展開	「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」の活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。	宗教部			
			6	中・高	モラル・ルールに対する意識の向上	社会ルールへの遵守に向けた指導徹底および意識啓発プログラムの充実	過年度から継続して①登校時におけるマナーと自転車交通ルールの指導・徹底、②携帯電話・スマホやSNS利用を中心としたマナー指導・啓発活動の実施、さらに③校則に関する運用方法の検討課題について取り組む。家庭でのインターネット利用時間の増加や学校でのICT機器を使った授業の必要性など、生徒を取り巻く情報環境はますます変化している。社会の現状に合わせてメディアを利用する生徒の意識向上や学校でのルール見直しについて、引き続き検討する。	生徒指導部			

2021年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2021年度事業計画案	担当部署	2021年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2021年度の具体的な計画内容	2021年度の具体的な実施内容	評価	評価の理由
教育研究 ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを目指した研究機能の充実・強化	1	入試制度・生徒募集	1	中・高	中長期的展望に立った学校の将来計画の検討	社会情勢や動向に基づく適正な学校運営の実現	学院本部の財務担当者と協議し、持続可能な学校運営を行うための適正な学則定員の見直しと、入学者数確保に向けての情報収集と具体的な検討に着手する。	総務部			
			2	中・高	入試制度(中学・専願・前期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等)の検討	教育の充実に向けた入試制度の確立と実施	中学入試、高校専願入試、高校前期入試、帰国生徒入試ともに、近年の入試結果を総合的に検証する。また、従来の課題や将来的な動向を踏まえつつ、今後の入試制度全般について検討する。	総務部			
			3	高のみ	西南学院大学推薦入試制度の見直しと検討	高大接続の充実を含む西南学院大学推薦入試の実施	本学院が建学の精神を守り、同じキリスト教理念のもとで生徒・学生の継続的な一貫教育の充実を図るため、更なる高大連携を進めたい。そのために、西南学院大学への推薦入試制度における学部・学科ごとの適正な推薦人数や出願条件について検討し、大学との協議を進めたい。この入試制度がお互いにとってより有効な制度となる方向性を模索する。また、合格発表後の学習指導のあり方を再検討し、西南学院大学への入学前教育をさらに充実させる。	進路指導部			
	2	カリキュラム・教科教育	4	中・高	中高一貫教育体制の検証と改善	中高一貫教育の特色を活かした学校運営の確立	今年度は、中高一貫教育体制の検証と改善について、具体的な計画はない。	教務部			
			5	中・高	教科教育の充実	生徒の学力向上と幅広い進路保障の確立	中学においては、新学習指導要領に対応して編成されたカリキュラムを計画的に実践する。高校においては、2022年度からの新学習指導要領への実施に向け、各教科・科目のシラバスを全面的に改定し、評価方法や評価基準、公開方法の見直しも検討する。	教務部			
			6	中・高	ICT教育の検討	ICT教育システムの積極的な活用による生徒の主体的学習の促進	新中学1年・新高校1年(一般生)・新高校2年の全生徒、新任者や非常勤講師を含む全教員にタブレットを配付する。また、デジタル教科書や各種ラーニングソフト教材を導入し、生徒の主体的な学習推進と教員の校務改善を図るとともに、全生徒・教員へのタブレット導入完了に伴うWi-Fi環境の整備について、多目的ホールと自習室を優先しての整備に着手する。	ICT教育委員会			

2021年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2021年度事業計画案	担当部署	2021年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2021年度の具体的な計画内容	2021年度の具体的な実施内容	評価	評価の理由
教育研究 ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを目指した研究機能の充実・強化	3	進路指導	7	中・高	キャリア教育(進路指導)体制および手法の見直しと検討	生徒の特性や希望に即したキャリア教育指導体制の確立	中学・高校ともに、現在行っている各種進路説明会や大学説明会等を継続的に実施し、その効果を検証するとともに、キャリア教育のさらなる充実に向けた新たな企画の検討を行う。	進路指導部			
			8	高のみ	高大接続および連携の課題に対応した進路指導の充実	高大接続および連携を活用した進路指導の充実	各大学が実施している高大連携プログラムを調査・検証し、今後の本校の進路指導における活用のあり方について検討する。また、西南学院大学との連携を通じて、中学生や高校生の主体的な進路選択を促す取り組みを拡充する。	進路指導部			
			9	高のみ	多様化する進路希望者に対する支援制度の確立	進路保障の拡充に向けた制度の確立	大学入学共通テスト導入に伴う受験動向についての情報収集と分析を行い、生徒の特性や希望に応じた進路指導や支援の強化に取り組む。また、英語外部検定試験の導入に伴う指導方針についても検討する。さらに、新学習指導要領で示されている学力の三要素を意識し、学校推薦型選抜や総合型選抜で求められる課題探求能力を中高6年間でどう培うか、議論を進めたい。	進路指導部			
	4	特別支援	10	中・高	特別支援体制の整備と充実	生徒の状況に応じた教育支援の確立	支援を必要とする生徒の情報を共有し、様々な支援体制の充実に向けた校内研修を行い、関係機関との連携強化に努める。	総務部			
	5	総合的な「知」の探究	11	中・高	外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化	幅広い知識の修得による知的好奇心の醸成と精神的成長の促進	生活困窮者支援や平和構築などの社会的問題に取り組む実践者を講師に招き、歴史的・文化的背景を理解しながらグローバルな視点をもって課題解決に向かうための知識の習得と姿勢を養う機会を設ける。	宗教部			
			12	中・高	現図書館の利用促進と情報・学習資料センターの機能をもつ新図書館構想の実現	生徒が自主的に利用しやすい環境の確立	現東側アトリウム施設の改修について、業者選定を行い、今年度着工を目指す。事務室においては、学院財務部(施設課・経理課)と連携を図り、それに伴う資金調達計画を策定し、計画実現のための作業を遂行する。	図書部			
	6	教員の資質向上	13	中・高	研究授業の積極的展開	教員のスキルアップに向けた研究授業制度の確立	各教科の研究授業や研修発表の実施を促して教科教育のさらなる充実を図るとともに、自主的な研究発表や勉強会への参加に向けた支援を行う。	教務部			
			14	中・高	研修制度の見直しと検討	教員研修制度によるスキルアップの促進	現行の研修実施状況を検証し、改善に向けた方策や、勤続20年目や30年目の学び直しをも見据えた新たな研修制度の創設を検討する。	総務部			
	7	教育施設の整備	15	中・高	実験室や視聴覚教室、課外活動施設、職員室等の校内施設・設備の充実	設備の充実による教育内容および効果の向上	よりよい学習環境の整備に向け、情報・学習資料センターを中心に東側アトリウム施設の具体的な改修計画の策定、会議室の利用、人工芝の敷設を中心としたグラウンド施設の整備、校内諸施設の利活用について関係者から意見・要望を聴取するとともに、一連の整備計画と資金調達計画を策定し、校内での審議を行う。	総務部 事務室			

2021年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2021年度事業計画案	担当部署	2021年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2021年度の具体的な計画内容	2021年度の具体的な実施内容	評価	評価の理由
国際感覚 ①グローバル社会の担い手の育成 ②異文化理解と外国語教育の充実 ③キャンパスの国際化の推進	1	グローバル社会の担い手の育成	1	中・高	多様性を認め合う共生社会の形成に向けた国際交流プログラム(海外研修・留学生受入を含む)の充実	国際交流の積極的な展開によるグローバル教育の充実	留学制度の充実のため、高校訪豪研修、ピース・メイキング・プログラム、インターナショナル・デイ・キャンプの実施と検証を継続し、教務規定の見直し、進級留学制度の改定、ターム留学制度の制定を進める。また、中学海外研修プログラムおよびターム留学制度に関する検討を行う。海外からの留学生受入に際してのルールを策定し、校内制度としての明文化を検討する。	総務部 教務部			
			2	中・高	帰国生への対応(募集拡大、教学支援の検討)	帰国生受入制度の確立	帰国生徒の実態の把握や受入体制について、近年の帰国生徒入試結果や入学後の状況等を総合的に検証し、多様な生徒の募集を目的とした受験資格や条件緩和のあり方について検討する。また、本校への入学や転入を希望する帰国生徒についての法制度についての調査を行う。	総務部 教務部			
			3	高のみ	卒業後の海外大学進学への支援体制の構築	海外進学支援体制の確立	海外進学を希望する生徒の現状やニーズを把握するとともに、海外進学についての情報提供のあり方について、専門業者との連携も視野に入れながら引き続き検討する。また、進路指導部にかかる専門分野の係を設け、国際交流委員会と連携しながら上記の検討を進める。	進路指導部			
	2	英語教育のさらなる強化と拡充	4	中・高	全生徒に対する英語力の全般的な向上	英語を活用したコミュニケーション能力の向上	オンライン英会話授業の運用について、英語科を中心に検証し、必要に応じて運用計画の見直しを行う。また、生徒のさらなる語学力向上に反映させるための方策についても検討を継続する。	教務部			
			5	中・高	GTEC等の英語力の学外指標の導入	大学入試対策に合わせた英語力の向上	英語外部検定試験(GTEC)を計画的に実施し、実施後の検証を行うとともに、英語4技能をさらに伸ばすための新しい取り組みについて議論する。また、今後のGTEC以外の英語外部検定試験の活用についても情報収集と分析を継続する。	教務部 進路指導部			
	地域貢献 ①地域社会との協働 ②国際交流都市福岡への貢献 ③地域に開かれ、地域に貢献する空間づくり	1	地域における貢献活動	1	中・高	ボランティア活動やイベント等の地域貢献活動・地域福祉活動の充実	地域貢献活動の充実に向けた組織と制度の整備	「震災忘れない募金」等の街頭募金、社会福祉施設訪問、キリスト教学校フェア参加、地域住民対象のコミュニティクリスマス、生徒会による地下鉄乗車マナーアップキャンペーン活動への協力を継続する。さらには本校からの出前授業やPTA学校訪問の受入等を通じて、地域住民等からの意見や要望を収集するための方策を検討する。	宗教部 総務部 生徒指導部		
2				中・高	災害発生時の避難場所提供等の防災協力体制の充実	地域防災の充実	本校近隣の地域住民に向けた防災協力体制(防犯対策や交通安全対策を含む)や具体的内容、情報共有のあり方について継続して検討する。	総務部 事務室			
2		地域住民との連携	3	中・高	百道浜自治協議会との連携強化	連携のための組織および制度整備による地域との関係性の向上	地域との連携に向け、自治協議会関係者との情報交換や懇談、地域住民からの意見や要望を収集するための方策を検討する。	総務部			

2021年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2021年度事業計画案	担当部署	2021年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2021年度の具体的計画内容	2021年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
経営基盤	1	広報活動	1	中・高	中学校・高等学校全体のブランディング・広報戦略の充実・強化	学校および生徒の取り組みの積極的な社会発信による理解度・認知度の向上	2022年度に予定している学校紹介動画のリニューアル計画を策定し、必要な予算措置を講じるとともに、作成準備に着手する。また、2023年度に予定している学校案内冊子の全面リニューアル計画を策定する。	広報部			
					危機管理体制(災害対応・施設強化を含む)の充実・強化	危機管理体制および設備・機器の整備による生徒・教職員に対する安全管理の向上	各種委員会や会議体が抱える問題点や課題、懸案事項を抽出・分析し、特に防災マニュアルの更新や防災備蓄計画の充実・強化を図る。感染症への対策については外部機関と連携を図りつつ問題の解決に取り組む。				
	2	運営管理体制の強化	3	中・高	校友行政の強化・同窓会との協力関係強化	関係強化のための組織と制度の整備	学校から同窓生への情報提供のあり方について、校長、副校長、教頭、事務長が中心となって、同窓会役員との協議の場を設ける。	総務部 事務室			
					後援会との協力関係強化(情報提供のさらなる充実、専用ホームページの検討)	関係強化のための組織と制度の整備	学校から保護者への情報提供のあり方について、校長、副校長、教頭、事務長が中心となって、後援会役員との協議の場を設ける。				
	3	教職員に対する健康管理の充実	5	中・高	定期健康診断に基づく保健指導の充実、メンタルヘルス等の対応強化	労働安全衛生法に基づく健康管理制度の確立と運用	教員の出勤管理や健康状態の把握を含む校務支援のパッケージシステムを導入し、現場での運用を開始するとともに、システム導入に伴う効果測定と校務処理手順の見直しを行う。	総務部			